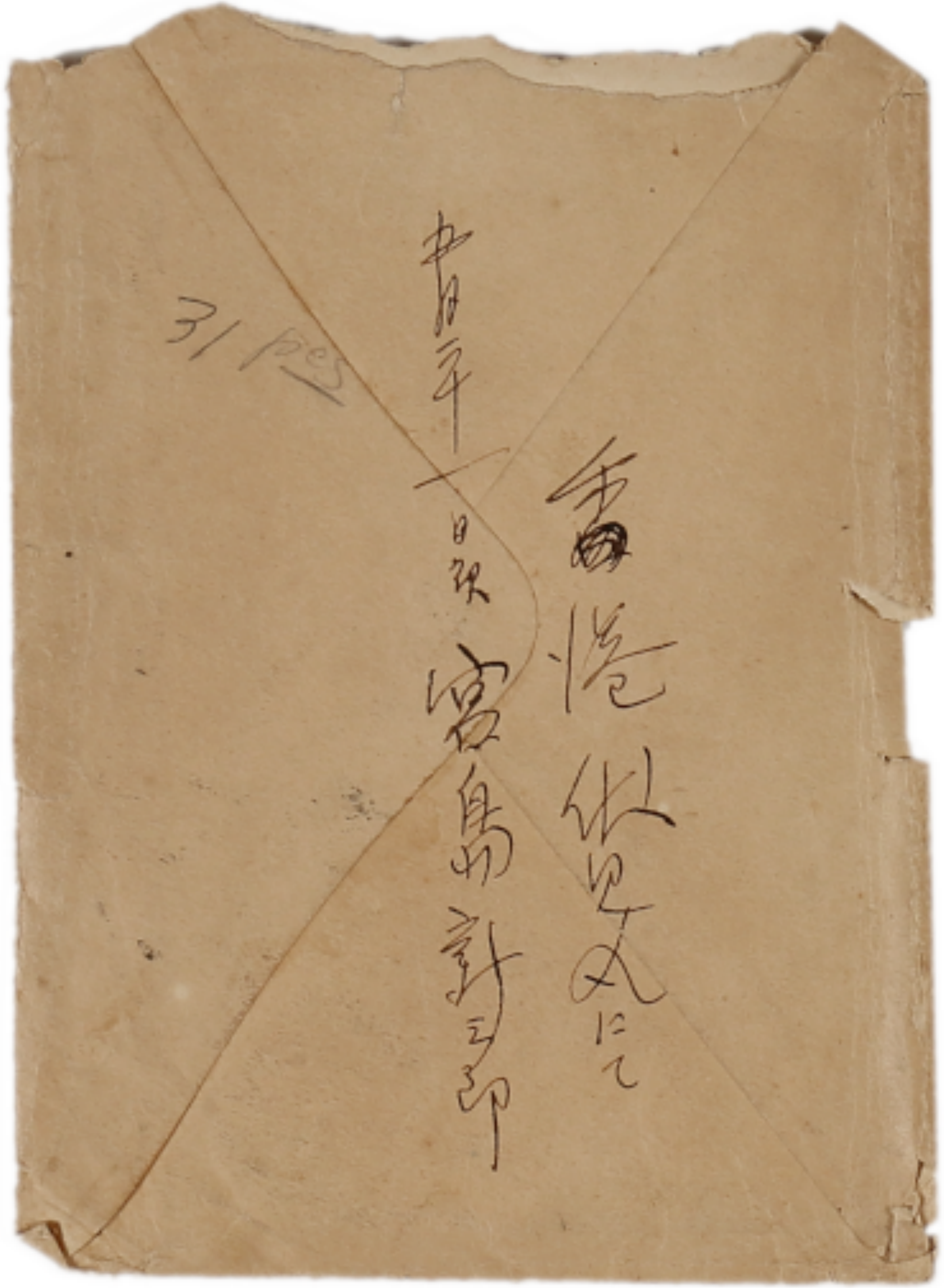
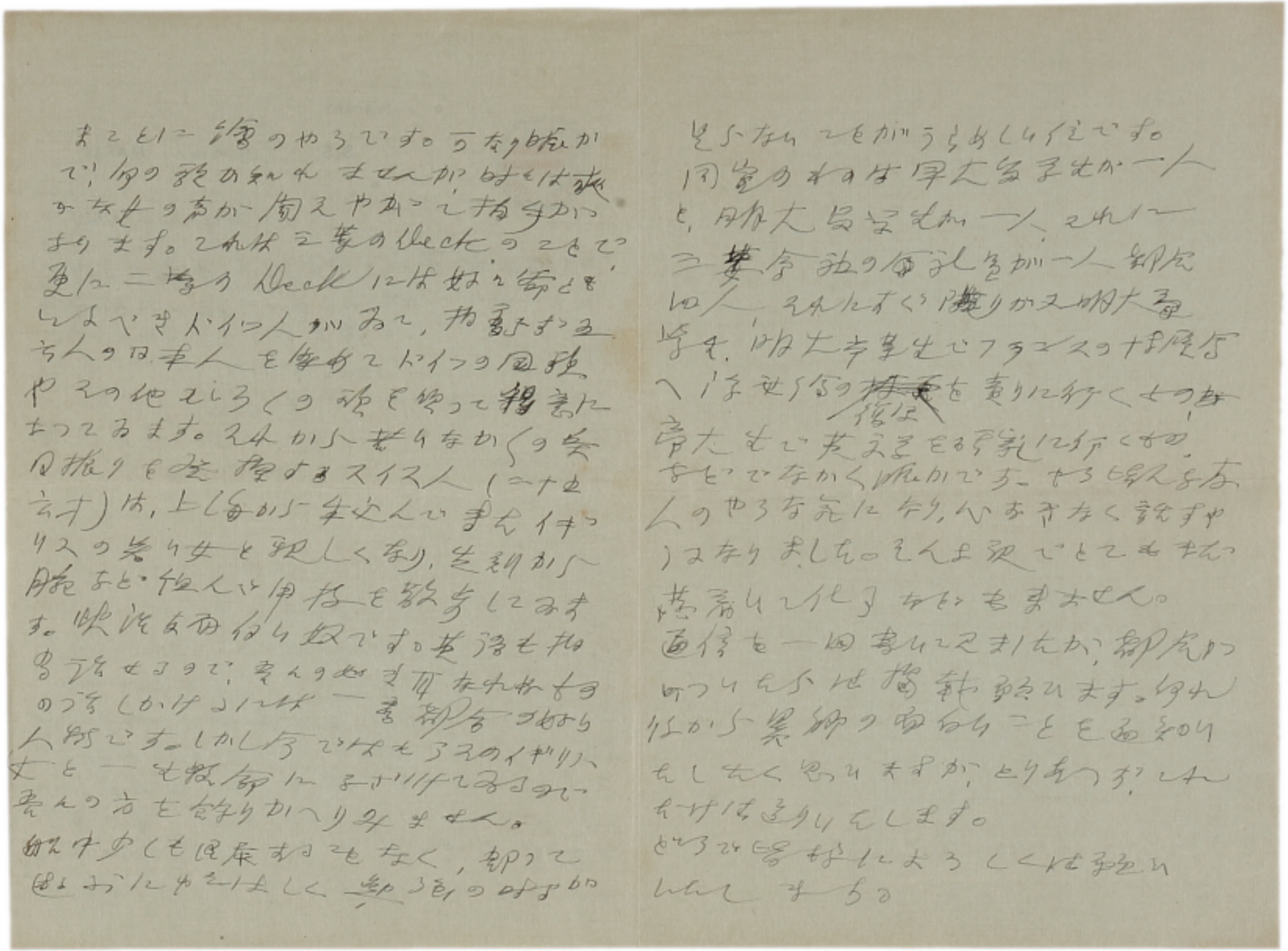


十月二十一日夜
香港 佐渡丸にて
宮島新三郎

31 pes



まことに絵のやうです。可なり暖かで、何の故か知れませんが時々は夜か女の声が聞えやがて拍手が起ります。これは三等のdeckのことで、更に二等のdeckには妙な命ともいふべきドイツ人が居て、指揮する五六人の日本人を集めてドイツの国歌やその他いろいろの歌を唄って得意になってゐます。それから甚しないくの美目振りを発揮するスイス人（二十五六才）は、上海から乗込んできたイギリスの若い女と親しくなり、朝から晩まで二人で甲板を散歩してゐます。映画女優位の奴です。英語も相当話せるので、あんな若い可なりの女の話しかけるには一番都合のいゝ人物です。しかし今ではもうそのイギリス女と一生懸命にまかりけてゐるので他の方を余りかへりみません。

船中少しも退屈することもなく、却って遊ぶにせはしく、読書の時が足らないことがうらめしい位です。

同室の者は早大の学生が一人と、明大の学生が一人、それに三井合名の会社員が一人都合四人。それにすぐ隣りが又明大の学生。明大の学生でフランスの博覧会へ浮世絵の~~模写~~複製を売りに行くといふ男、帝大生で英文学を研究に行く者。などでなかなか賑かです。もう皆知人のやうな気になり、心おきなく話すやうになりました。そんな訳でとてもまだ退屈して仕方ないこともありません。

画信を一回書いて見ましたが、都合がつきたらば掲載願ひます。何れ仏から異郷の面白いことをお知らせいたしたく思ひますが、とりあへずこれだけはお送り致します。

どうぞ皆様によろしくお願ひいたします。